

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-3

インフルエンザの報告は依然増加中であり、年齢階級別に見た患者の構成は1～9歳が全体の46%を占める



注目すべき感染症  
P.4-5

2000年第2週(1月10日～1月16日)現在、インフルエンザは全国的にA/香港型とA/ソ連型の混合流行の様相 / 今冬のインフルエンザの流行について



病原体情報  
P.6

インフルエンザ- 分離報告数ではA/ソ連型がやや優勢 / 感染性胃腸炎- 今年に入り一部地域でSRSVの検出報告



IASRからの速報  
P.7-8

大阪府でインフルエンザAH1 型ウイルス感染による急性脳症患者 / 大阪における今冬季のRSウイルスの動向



海外感染症情報  
P.9

中国でポリオ報告-ポリオ1型野性株、輸入されたウイルスである可能性 / ブラジルにおける黄熱情報更新 / ドミニカ共和国におけるマラリア情報



感染症の話  
P.10-11

レジオネラ症  
病原菌は日常に普通に存在し、冷房や循環風呂など人工的環境の変化にともない近年症例数が増加



読者のコーナー  
P.12



グラフ総覧(2週)  
P.13-19



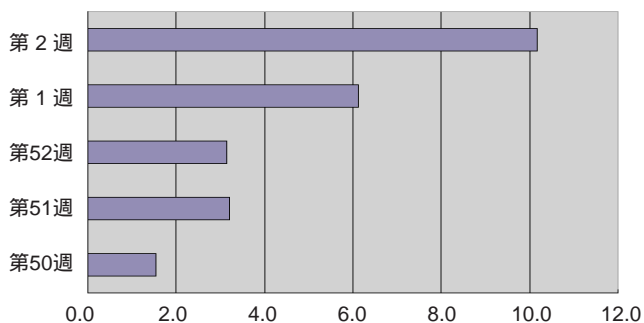
2週のデータ  
P.20-27



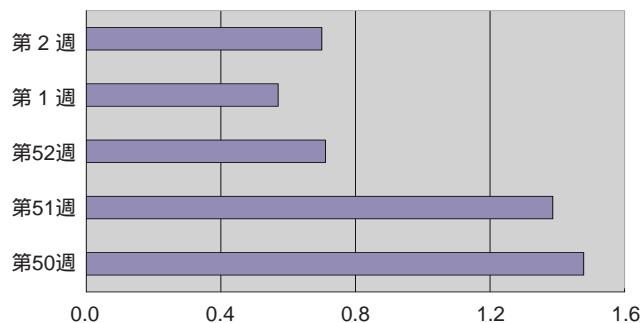
## 最近の注目疾患-5週間の動き

インフルエンザ患者の定点当たり報告数は依然増加中であり、前週の定点当たり報告数は6.1、今週は10.2となっている。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は1999年第50週より定点当たり報告数が減少傾向にあったが、今週はわずかながら前週を上回った。感染性胃腸炎は、流行曲線が既にピークを形成し、患者の定点当たり報告数は徐々に減少傾向にある。水痘は全国的に流行が見られるが、患者の定点当たり報告数に大きな変化はない。麻疹は複数の都道府県でまとまった数の報告があり、全体的にも患者数に増加傾向が見られる。麻疹は例年春にかけ流行曲線が上昇するので、今後も疾患の動向に注意が必要である。

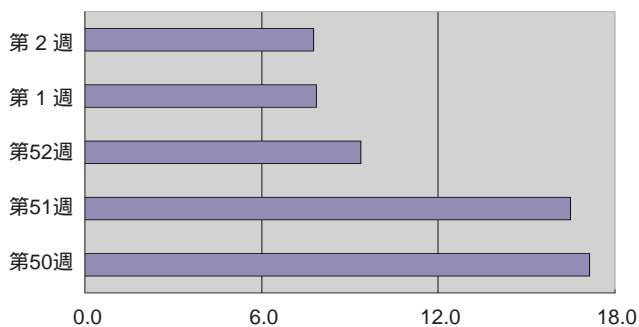
インフルエンザ



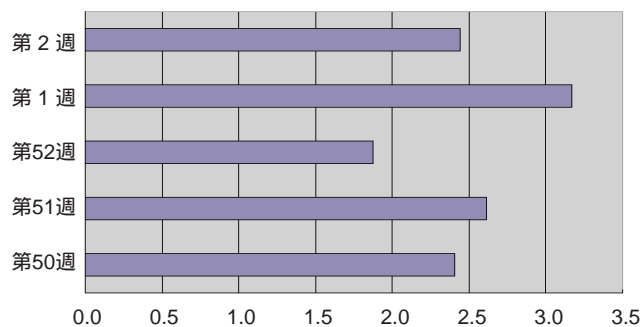
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



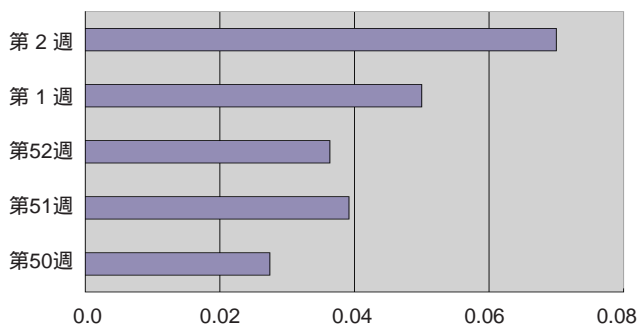
感染性胃腸炎



水痘



麻疹





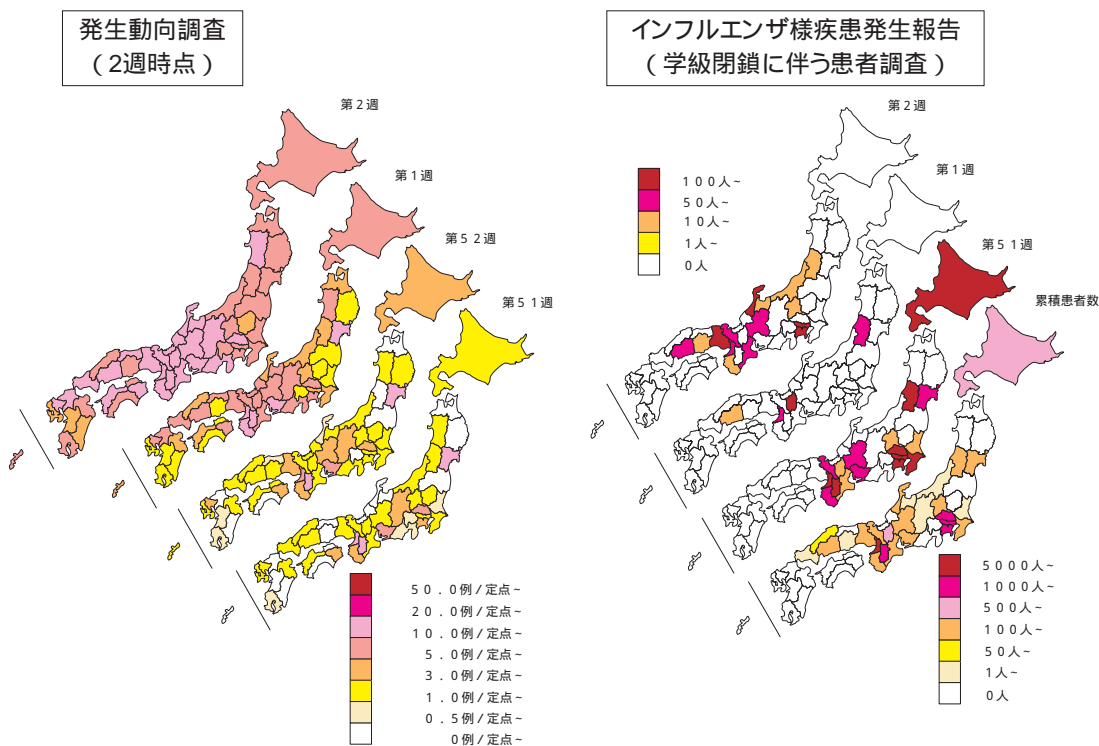
# 注目すべき感染症

## インフルエンザ流行状況

2000年第2週( 1月10日 ~ 1月16日 )現在、全国レベルの報告患者数は定点当たり10.2で、前週( 第1週 )の6.1と比べ増加しており、今後も増加が予想されるが、現在のところ定点当たり報告数は平年並みである。都道府県別では、以下の地図グラフで見られるように、多数の都道府県で、患者報告数は増加傾向にあり、特に東海・北陸、近畿、中国・四国で平均の定点当たり報告数が10を超えている。

1月21日までに、国立感染症研究所ウイルス第1部呼吸器系ウイルス室には、合計1,250株のウイルス分離報告が入っており、このうち727株がA/ソ連型( H1N1 )、522株がA/香港型( H3N2 )、1株がB型である。今シーズンに入って、当初集団発生例からはA/ソ連型の報告数が多く見られていたが、次第にA/香港型も分離されるようになってきている。A/ソ連型のみ分離されているのは、岩手、三重、鳥取、大分の各県、A/香港型のみが分離されているのは栃木、岐阜、石川、宮崎、熊本各県である。山梨、岡山、山口からはまだ分離報告がない。その他の地域ではA/ソ連とA/香港が混合して分離されている。B型は福岡市にて1件分離されている。全国的にみると、A/香港型とA/ソ連型の混合流行の様相を呈している。

学校からの報告では、患者数は一部地域で増加しており、インフルエンザ様疾患発生報告( 9報、平成12年1月9日 ~ 1月15日 )によると、総患者数は平成11年11月7日からの累計で18,974人( 昨年同期1,253人 )、総欠席者数は累計で11,055人( 昨年同期2,201人 )となっており、今シーズンは98-99シーズンに比較して学校での流行は大きいと考えられる。学校の集団発生例からもA/ソ連型が分離されているところと、A/香港型が分離されているところがある。



## 今冬のインフルエンザの流行について( 1月25日現在 )

毎週全国約5,000医療機関定点からインフルエンザと診断された患者数を報告してもらう感染症発生動向調査によると、2000年第2週( 1月10日 ~ 16日 )の報告では、1定点当たり1週間のインフルエンザ患者数の平均値は10.2であり、昨年末の3.2、第1週の6.1と比較して増加中であるが、これまでのところ最近5年間の平均的な推移と同様の傾向となっている。全国の幼稚園・小学校・中学校で学級・学年・学校閉鎖が行われた際にインフルエンザ様疾患に罹っている児童の数を把握するインフルエンザ様疾患発生調査によれば、1月第2週の患者数は1,253名で昨年同期の1,974名より減となっているが、昨年10月来の今冬の累計では1月第2週までの患者数は18,974名で、昨年同期の3,900名より増となっている。

これまでのところ各地で分離されているインフルエンザウイルスはA/ソ連型とA/香港型で、A/ソ連型の分離数の方が多く、学校の集団発生などでもソ連型の方がやや多くみられる。B型の分離数は、これまでのところ1株のみである。

今後の流行の主流がA/香港型になるとしたら、今年はA/香港型流行の3年目にあたりすでにこれまでの流行で免疫保有者数の割合は小児を中心に多くなっており、大きな流行になる可能性は少ないと考えられる。流行の主流がソ連型となった場合には、この3年間はソ連型の流行がなかったことより各年齢層での免疫保有者数は少なく、やや大きい規模の流行になることが予測される。しかし過去の例では、A/ソ連型がA/香港型のような大流行を引き起こした例はない。B型も今後の推移には予断を許さないが、B型も大規模な流行の中心となったことはない。

以上のことから、現段階では断定的なことはいえないが、今後の流行は2月頃に向けて拡大するものの大流行とはならず、例年なみの推移をたどるのではないかと予測される。

インフルエンザ流行の始まり、規模および程度はその年によって異なるので、今後も慎重に推移を見ることが必要である。

( 感染症週報編集委員会 )

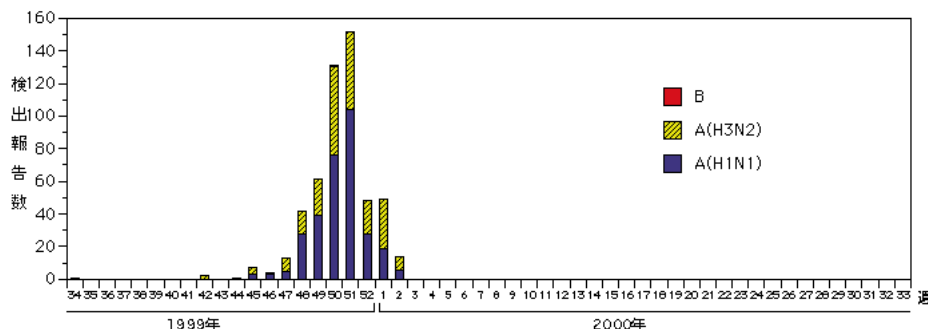


# 病原体情報

## インフルエンザ

分離報告数は徐々に増加している。A/ソ連型とA/香港型の両方が分離されている都道府県が多いが、分離報告数ではA/ソ連型がやや優勢である。これはA/ソ連型集団発生例からの検体が多数含まれているためであると考えられる。詳細は前項「注目すべき感染症」インフルエンザ流行状況を参照されたい。

週別インフルエンザウイルス分離報告数、1999/2000シーズン (病原微生物検出情報：2000年1月21日現在報告数)



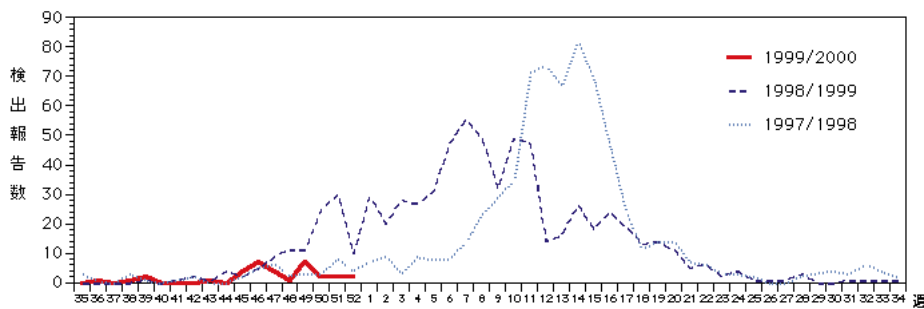
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



## 感染性胃腸炎

2000年に入り大阪府、北九州市、山梨県からSRSVの検出報告がある。ロタウイルスの検出報告は今シーズンは低めに推移しており、岩手県、大阪市などから検出の報告があった。

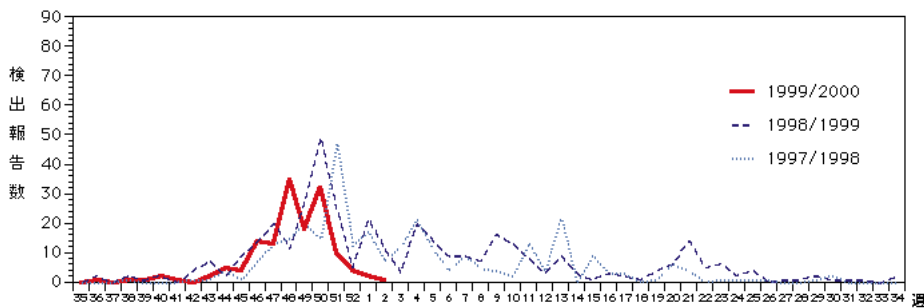
週別ロタウイルスの検出報告数、シーズン別比較 (1997/1998、1998/1999、1999/2000) (病原微生物検出情報：2000年1月21日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



週別SRSVの検出報告数、シーズン別比較 (1997/1998、1998/1999、1999/2000) (病原微生物検出情報：2000年1月21日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



## インフルエンザAH1 型ウイルス感染による急性脳症患者- 大阪府

急性脳症と診断された患者の咽頭拭い液よりインフルエンザAH1 型ウイルスが分離同定されたので報告する。なお、髄液からは分離陰性、PCR による検出はまだ行っていない。この患者の経過は以下のようである。

患者: 4歳男

現病歴: 1999年12月22日朝より発熱39 認め、下痢、嘔吐も伴い、解熱座薬使用、9:00近医受診し、15:00、40 にて再度座薬使用、夜になって寒けを訴え、41 発熱、1回嘔吐し、ジュースを飲んで寝たが、うわごとを言い、反り返り、吐くことを2回繰り返す、尿失禁も認め、21:50に高槻病院小児科に救急入院。

入院経過: 入院時は意識レベルIII-100～II-30にて頭部CTで脳室の辺縁不明、狭小化を認めた。入院後、水様便、嘔吐頻回で、検査上はWBC 12,200、CRP0.7、GOT89、GPT 56、LDH 686、NH3 52と軽度の逸脱酵素の上昇を認めた。急性脳症を疑い維持輸液、グリセオール投与で加療開始、その後12月23日朝にかけて熱も上下し、下痢続き、さらに意識レベル低下しIII-100～200となりパピンスキー反射、尖足位認めたため、髄液採取したが、圧は高くなく、細胞数1/3、蛋白360mg/dlと蛋白の増加のみ認めた。

12月23日 GOT 1,048、GPT 925、LDH 1,963、NH3 133と逸脱酵素上昇し、ライ様症候群あるいはインフルエンザ脳症を疑い、免疫グロブリン製剤点滴静注したが、同日夕刻、自発呼吸弱くなりチアノーゼを認め、16:00頃人工換気療法を開始した。アマンタジン製剤経管注入開始、グリセオールをマンニトールに変更し、胃出血も認めたためガスターも開始した。Pre-DICの徴候もあり加療、意識レベルIII-300まで進行し、12月24日瞳孔散大し、対光反射なく、脳波、聴性脳幹反応( ABR )実施したが、脳波は平坦でABRも無反応、12月25日の頭部CTでは、中脳、脳幹部の低吸収域が認められ、脳幹脳炎が疑われた。末梢循環も不良となりドーパミン、ドブタミンも併用、逸脱酵素は回復してきたが( 12月25日 GOT 348、GPT 446、LDH1,295、28日 GOT 167、GPT 190、LDH 1,604、Na 158、K 3.8、Cl 128 ) 諸種治療に抗し症状の改善は得られていない。

なお、大阪府下では、1999年12月中は、インフルエンザAH1、AH3 型ともに分離同定されたが、AH1 型が優位であり、同様AH1 型感染に起因する脳症が数例認められている。また、AH3 型の侵淫の増加にともないこれに起因する脳症も数例確認している。

高槻病院小児科 西野昌光 安藤康一

大阪府立公衆衛生研究所 前田章子 加瀬哲男 森川佐依子 奥野良信

## 大阪における今冬季のRSウイルスの動向

RS( Respiratory syncytial )ウイルス( RSV )は、冬季の乳児肺炎の主要な原因ウイルスであり、臨床領域では、非常に重要視されている。

呼吸器症状を示す検体について、FL細胞およびMDCK細胞を用いて、ウイルス分離を行った。さらに肺炎、細気管支炎、または下気道炎を示す一部の検体については、RSV テストパック( ダイナボット )を用いて抗原検出を行い、以下の結果を得た。

1. 今冬季においては、RSV は1999年10月に初めて普通感冒患者から分離された。
2. 11月中旬～1月上旬にかけて下気道炎症状を示す検体でRSV テストパックを用いた抗原検索では、15/43( 35% )が陽性であった。
3. 以下の事例のように死亡例を含む重症患者からRSV を分離した。
  - ( 1 )患者は生後2カ月の女児、急性細気管支炎の疑い、発熱39.1℃、嘔吐、入眠傾向ののち呼吸不全、心停止・自然呼吸消失、翌日永眠。咽頭および鼻腔ぬぐい液からRSV 分離陽性。MDCK細胞によるインフルエンザウイルスは分離陰性。
  - ( 2 )患者は3歳の女児、基礎疾患あり( 脳性マヒ ) 呼吸停止で入院、1～2時間で自然呼吸を回復するが、人工呼吸管理を12日間必要とし、そのあと8日後に退院。咽頭ぬぐい液からRSV 分離陽性。MDCK細胞によるインフルエンザウイルスは分離陰性。
  - ( 3 )患者は2歳の女児、高熱が7日続いた重症インフルエンザ( 下気道炎あり )として検査依頼、鼻汁よりRSV 分離陽性。MDCK細胞によるインフルエンザウイルスは分離陰性。

RSV 感染症は、単なるかぜ様疾患から重症肺炎まで、その病態は多様であり、実体の把握は困難なことも多いが、院内感染の報告も多いことから、サーベイランスを強化していかなければならないウイルス感染症であると思われる。

大阪府立公衆衛生研究所 加瀬哲男 森川佐依子 前田章子 奥野良信

( IASR2月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照 )





# 海外感染症情報

## トピックス

### WHO情報( 1月13日 )

#### 中国( 青海Qinghai )ポリオ警告

症例は1999年10月13日、青海 Qinghai省、海東 Haidong 県、循化Xunhua郡、街子Geizi町で最初に報告された。患者は1998年6月13日生まれで、麻痺の発症は10月12日、11日に発症した発熱の1日後であった。突然発症した弛緩性麻痺のため患者が起立、歩行困難となったため、両親は隣町の開業医で診察を受けさせた。便検体が10月14日と25日に採取された。省の検査室で検査が行われ、両検体からポリオウイルスが分離され、これは後に北京の国立研究所でポリオ1型野性株と分類された。5人の接触者からの2回目の便検体が採取された際、患者の4歳のいとこからの検体中からも野生ポリオウイルスが分離された。患者はSala 少数民族に属し、ワクチン投与も受けていなかった。患者、家族とも2ヶ月以内に自分の住む郡以外に旅行した既往はなかったが9月25日から28日に郡の首都で開催された大きな祭りに患者を含む家族で参加していた。地域の積極的な疫学調査が行われたが、野生ポリオウイルスが広く流行している証拠は得られていない。今回のウイルスは最近輸入されたものと考えられ、得られている遺伝子配列からは現在インドで流行しているウイルス株に近似していることが示されている。



### WHO情報( 1月20日 )ProMED( 1月22日 )

#### 黄熱-ブラジル 更新

1月13日にブラジルで3名の森林型黄熱患者の確認が報告された。感染の疑いがある検体について検査が続けられている。National Health Foundation ( Funasa )の最高責任者は、21日時点でブラジル国内では13例( 5例がGoias 州、Alto Paraiso で感染、6例がGoias 州の他市で感染、2例がTocantins 州で感染 )の黄熱症例を確認し、50例の疑い例が検査結果待ちの状態となっていると報告した。

### WHO( WER 2000,75,9-16 )

#### マラリア-ドミニカ共和国

ドミニカ共和国-マラリア予防薬を推奨する地域にリゾート地区を含めるドミニカ共和国のリゾート地区を訪れたヨーロッパ人旅行者から熱帯熱マラリアの感染が報告されたため、マラリア予防薬( クロロキン )の推奨地域をLa Altagracia州のリゾート地区( Bavaroビーチ )まで拡大した。



## 感染症の話

### レジオネラ症

レジオネラニューモフィラ (*Legionella pneumophila*) を代表とする細菌感染症で、劇症型の肺炎と一過性のポンチアック熱がある。レジオネラ属菌は、もともと環境に普通に存在する菌である。快適な生活を求めることによって冷房(屋上の冷却塔)や循環風呂(家庭にあっては24時間風呂)が身近に普及したために、日常的に菌を含むエアロゾルに接する機会が増加することにより、あるいは検査技術の進歩によって、近年、症例数が増加している。

#### 疫学

院内感染は季節によらないが、市中感染は環境中に菌数の増加する夏場に多く、また旅行と関連して発症する。人から人への感染はない。

1998年5月に東京都内の特別養護老人ホームで男性が循環風呂の中のレジオネラニューモフィラ血清群5で肺炎になり死亡している。また、1999年6月に名古屋市で24時間風呂における水中出産によると考えられるレジオネラニューモフィラ血清群6感染で新生児が死亡している。レジオネラ肺炎は市中肺炎の3～10%を占め、潜伏期は2～10日である。

一方、ポンチアック熱は、発病率が95%、潜伏期間が1～2日であるが、集団発生でないと報告にあまりにくい。日本では、1994年に東京都内で開催された研修における冷却塔による集団発生例がある。

#### 病原体

レジオネラ属菌、特にレジオネラニューモフィラが多い。レジオネラは本来土壌細菌であるが、冷却塔、給湯系、渦流浴などの人工環境にアメーバを宿主として増殖している。冷却塔には血清群1、温泉や24時間風呂には血清群3,4,5のレジオネラニューモフィラが多い。

#### 臨床症状

レジオネラ肺炎は、臨床症状では他の細菌性肺炎との区別は困難である。全身性倦怠感、頭痛、食欲不振、筋肉痛などの症状に始まり、乾性咳嗽(2～3日後には膿性～赤褐色の比較的粘稠性に乏しい痰の喀出)、高熱、悪寒、胸痛が見られるようになる。傾眠、昏睡、幻覚、四肢の振せんなどの中枢神経系の症状が早期に出現するのも本症の特徴とされる。胸部X線所見では進行が速い肺泡性陰影である。本年6月に発症した新生児レジオネラ肺炎の場合、生後8日目に死亡し、剖検時には肺に小豆状の結節が多数みられた(図1)。

ポンチアック熱は、突然の発熱、悪寒、筋肉痛で始まるが、一過性で治癒する。



#### 病原診断

市販キットによる尿中抗原の検出は特異性が高く簡便迅速なため最近普及してきた。菌の分離にはレジオネラ専用(BCYEあるいはそれに抗菌薬を含んだもの)の培地を用いる必要がある。検体中の菌はグラム染色では染まらないので、ヒメネス染色やDieterle鍍銀染色を行う。図2は、

図1 剖検時肺(小豆状の結節が多数みられる)

新生児の剖検肺のパラフィン切片標本から、ヒメネス染色で菌体を検出できた例である。また、レジオネラ属菌に対する特異抗血清が市販され、間接蛍光抗体法で菌が検出できる。同じパラフィン切片からレジオネラニューモフィラ血清群6が検出できた( 図3 )。肺炎の剖検例で組織を凍結保存しておけば、そこから後でレジオネラ属菌を分離可能である。環境から分離された菌との同一性が問題になるので、環境水やそこからの分離株も患者由来の菌種が確定するまでは保存しておく必要がある。

**治療・予防**

レジオネラは細胞内寄生細菌であるので、宿主細胞に浸透するエリスロマイシン、リファンピシン、ニューキノロンなどの抗菌薬を使用しないと肺炎の治療は困難である。有効な抗菌薬の投与がなされない場合は7日以内に死亡するものが多い。エアロゾルの発生する可能性のある温水は、適切な殺菌剤の投与をおこなうか、換水などの留意が必要である。また高齢者や新生児の他、細胞性免疫機能が低下すると肺炎を起こす危険性が通常の健常者より高いので留意する必要がある。

**発生動向調査について**

レジオネラ症は4類感染症のうち全数把握となっている。報告の基準は以下のとおりである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ以下のいずれかの方法によって病原体診断や血清学的診断がなされたもの

- ・病原体の検出

- 例: 臨床材料( 肺組織、痰、胸水、血液、他の無菌的部位 )からの菌の分離、臨床材料( 肺組織または気道分泌物 )からの菌の検出 ( 直接蛍光抗体染色法 など )

- ・病原体抗原の検出

- 例: 尿中抗原の検出( EIA法 )など

- ・病原体の遺伝子の検出

- 例: 臨床材料からの遺伝子の検出( PCR法 )など

- ・病原体に対する抗体の検出

- 例: 間接蛍光抗体法での特異抗体価の上昇( ペア血清で4倍以上の上昇、または単一血清で256倍以上 )など

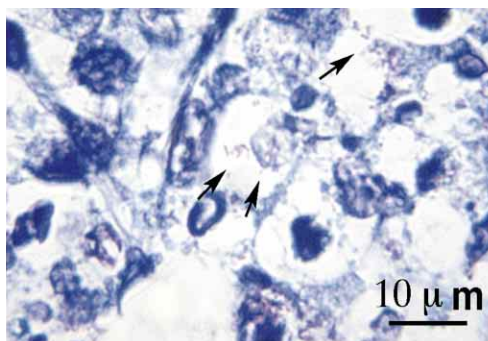


図2 肺切片のヒメネス染色像( 先に菌がみられる。)

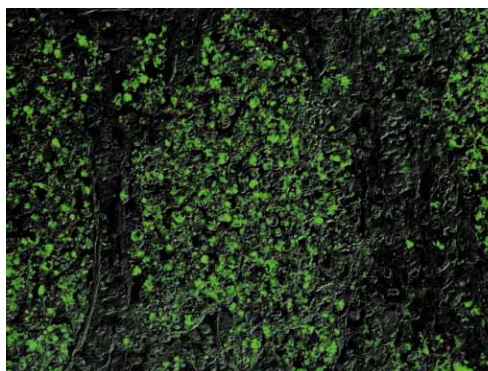


図3 肺切片の間接蛍光抗体法( 結節では、浸潤した白血球に多数の菌が検出された。微分干渉顕微鏡像との合成画像 )

( 倉 文明、渡邊 治雄( 国立感染症研究所細菌部 ) )



## 読者のコーナー

神奈川県 Aさんより

感染症週報が新しくなって発生動向総覧のページ( P.2 )に「過去5年間の平均との比」というグラフが登場しましたが、このグラフの読み方が良くわかりません。教えてください。

### 「過去5年間の平均との比」グラフの読み方について

このグラフはCPEG( 現在過去経験グラフ: current/past experience graph )と言われているものを、感染症情報センターでわが国のサーベイランスに合うよう改変したものです。CPEGグラフは米国厚生省のCDC( 疾病対策センター: Centers for Disease Control and Prevention )が発行しているMMWR( 有病率死亡率週報: Morbidity and Mortality Weekly Report )という週報に取り入れられている方法です。MMWRでは、データの週によるばらつきをなくしたり、未報告のデータを修正するために、処理時点から4週さかのぼって、それらの週の報告数の合計を用いて統計処理をしています。わが国では、この方法に変えて、過去のデータと今年のデータを比較するために、その週の定点当たり報告数を用いています。これは、年によって、その週によって定点数に違いがあるため、報告総数を定点で割ってなすためです。統計処理を始めるに当たって、まず、過去5年間のデータから平均値と標準偏差を求めます。例えば第n週の統計処理には過去5年間の、n-1週、n週、n+1週の3週分、つまり15カ月分のデータを使います。これで、たとえば過去の第n週に祝日が含まれていたり、というようなデータの偏りがある程度補正されます。この15カ月分のデータも全て定点当たり報告数に換算してあります。そして、今年の第n週の患者の定点当たり報告数を過去15カ月分のデータより計算した平均値で割ります。さらにこの平均値の対数をとります。対数の底は10です。したがってグラフの下についている目盛りの-1.000は今年のデータが過去の平均値の10分の1しかないことを表し、+1.000は今年のデータが過去の平均値の10倍もあることを示しています。データの分布が正規分布に従うことを前提とすると、1SDは1標準偏差、2SDは2標準偏差ですので、平均値+1SDの中には過去のデータの68%、平均値+2SDには過去のデータの95%が入りますから、今年のデータが黄色いバー( +1SD < 今年のデータ < +2SD )や赤いバー( +2SD < 今年のデータ )となっている場合は、その疾患の定点当たり報告数が有意に多いことを示しています。コメントの文中では、「統計学的に例年より有意に多い」と言ったり、黄色いバーで表される疾患には「やや多い」、赤いバーで表される疾患には「かなり多い」を表現として使っています。

\*\*\*\*\*

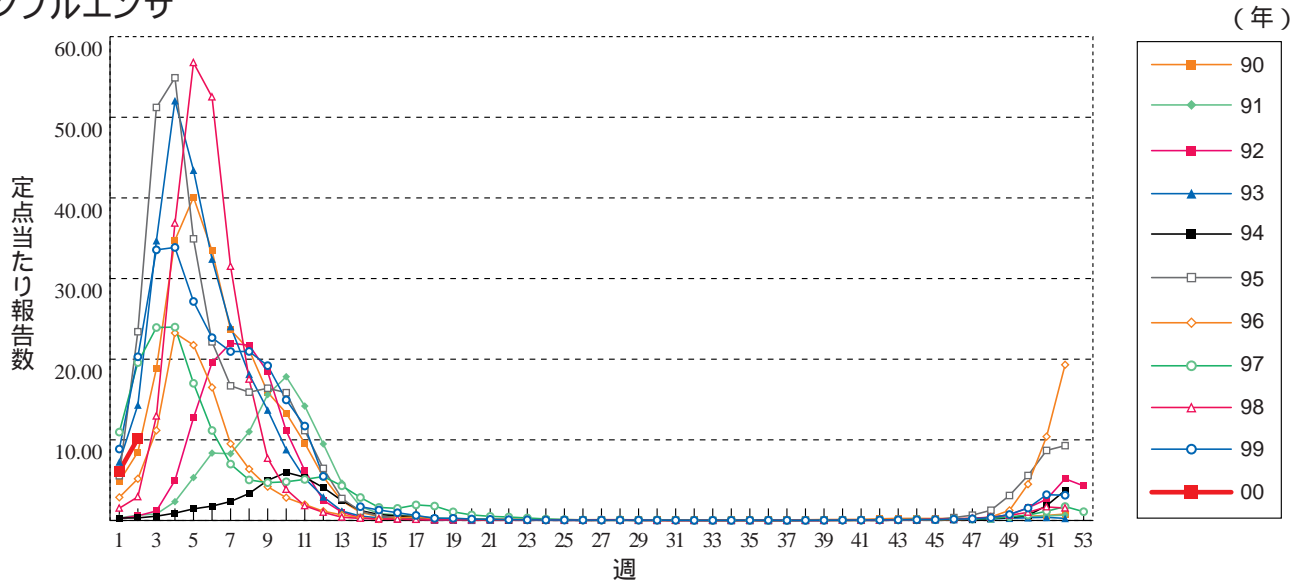
「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。  
ご意見・ご質問は、題名( タイトル )の一番はじめにidwr-QをつけてこちらまでEメールでどうぞ。

[idsc-query@nih.go.jp](mailto:idsc-query@nih.go.jp)

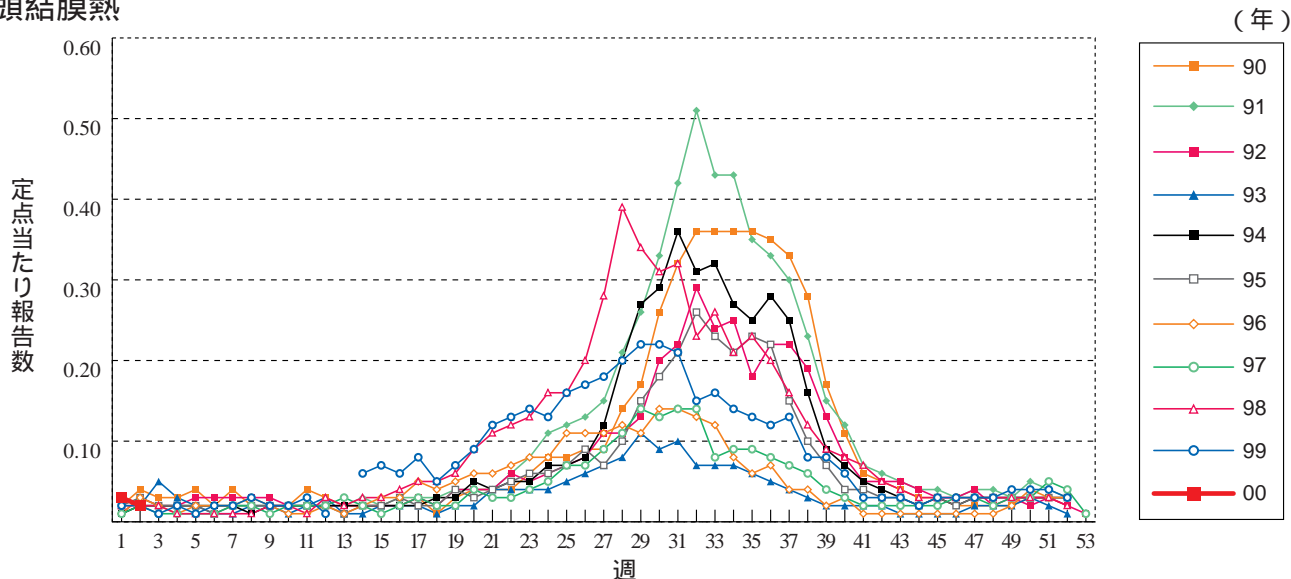


**グラフ総覧( 2週 )**

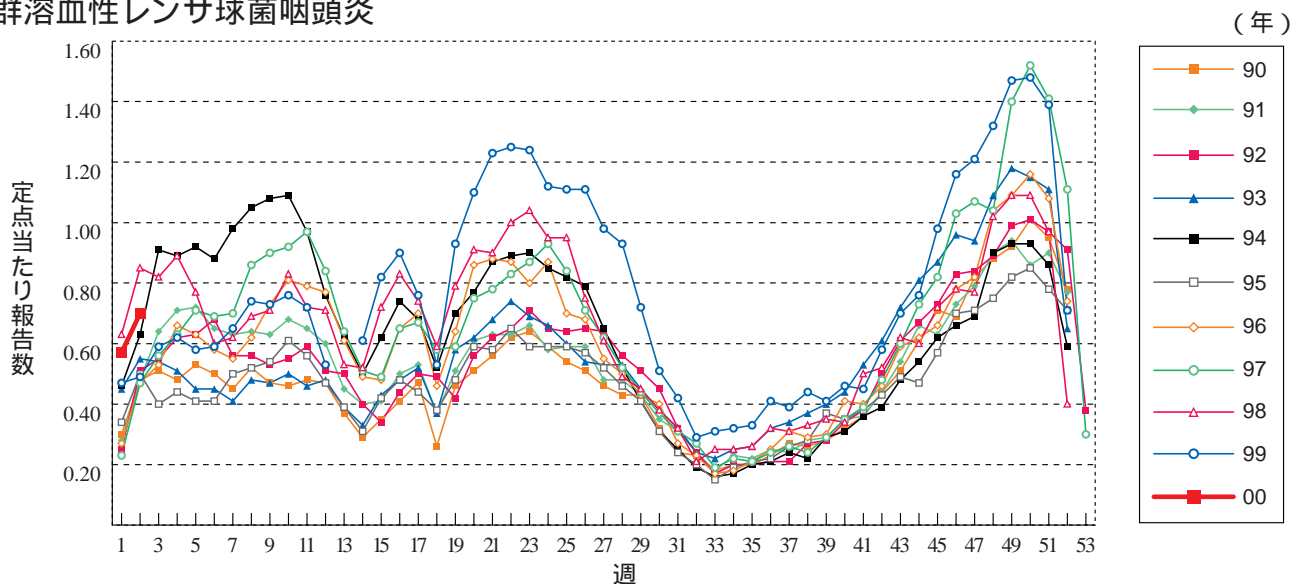
**インフルエンザ**



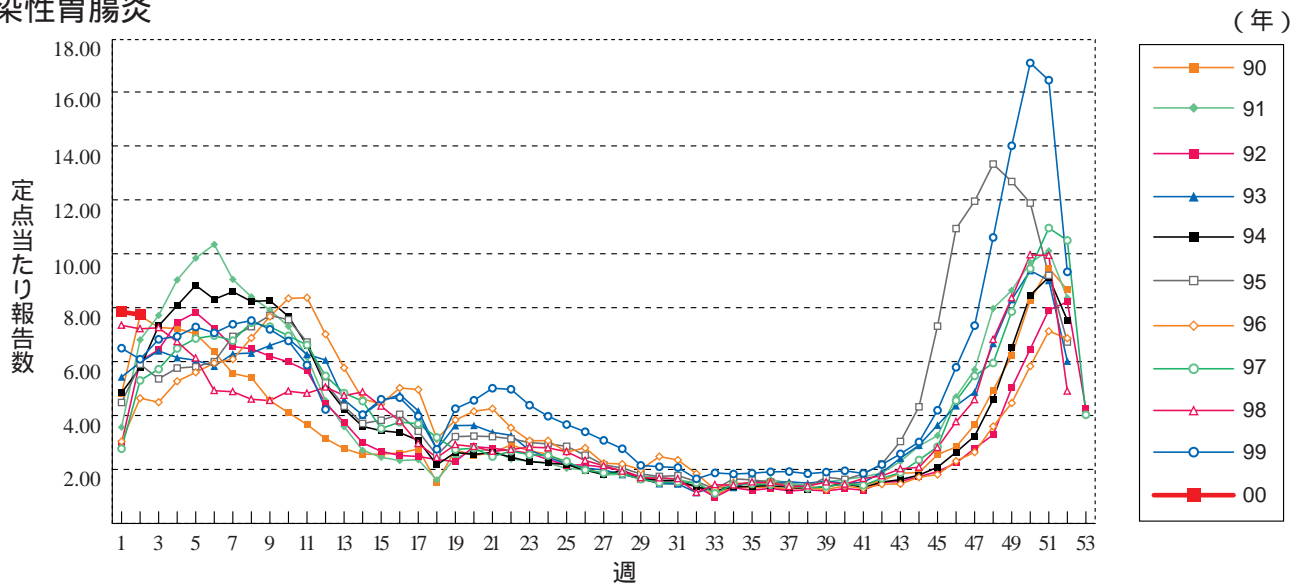
**咽頭結膜熱**



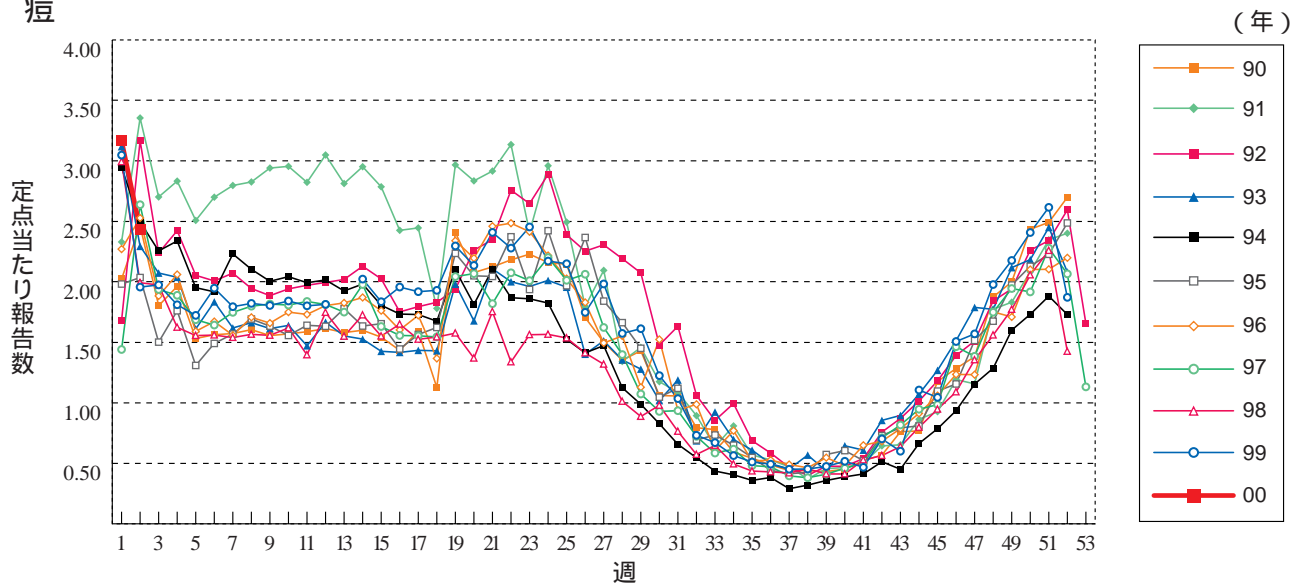
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



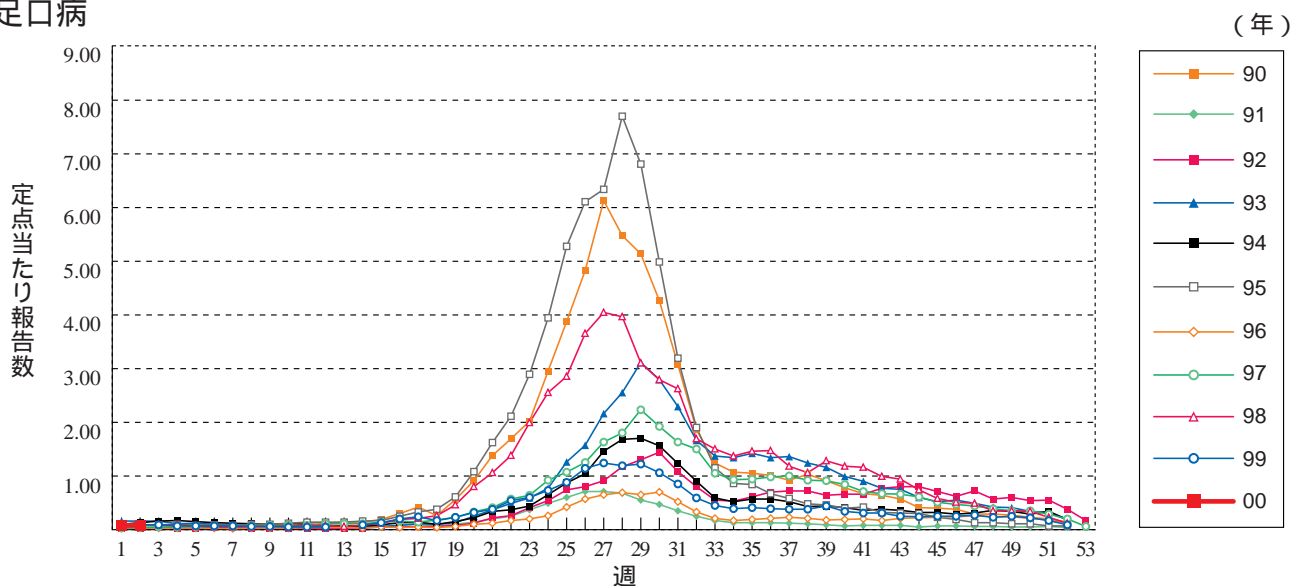
感染性胃腸炎



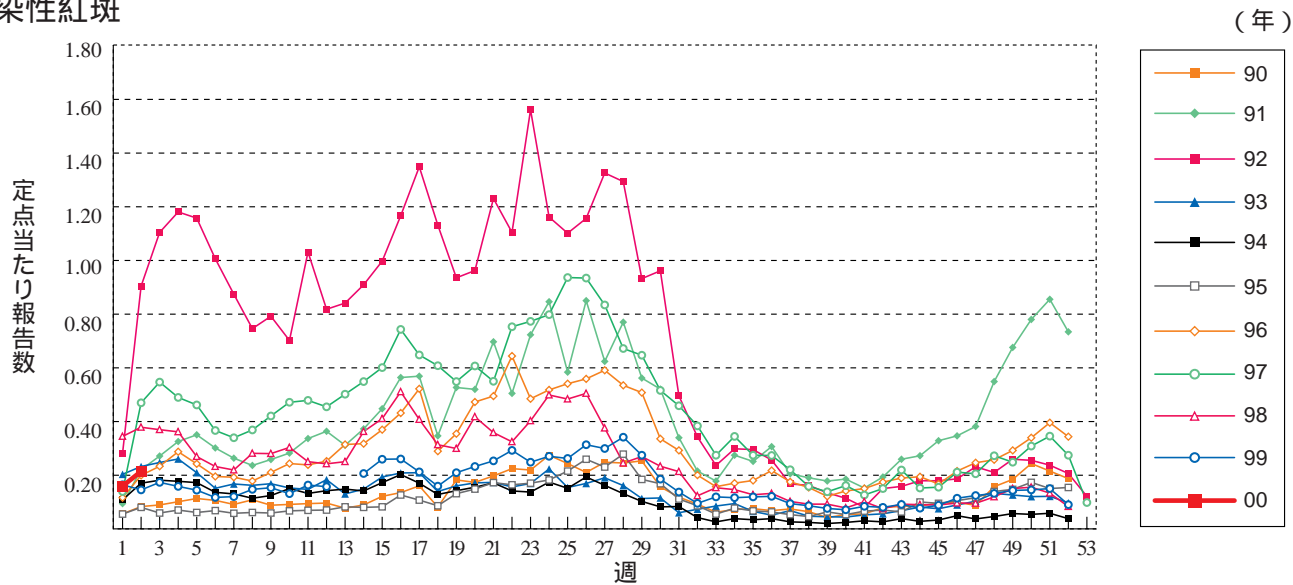
水痘



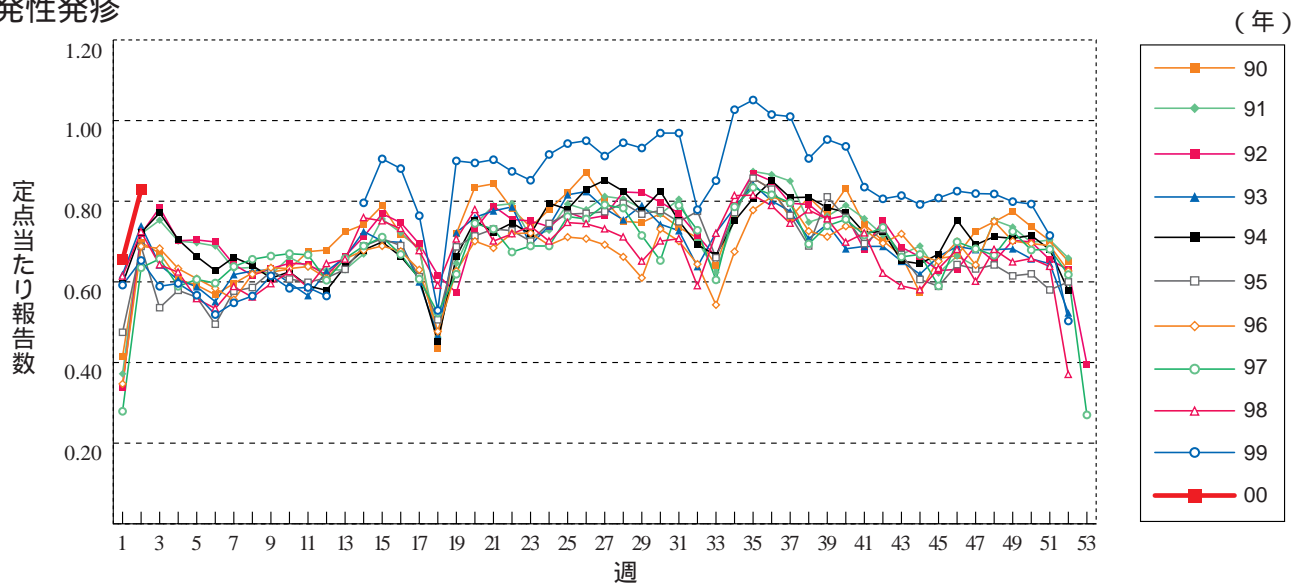
手足口病



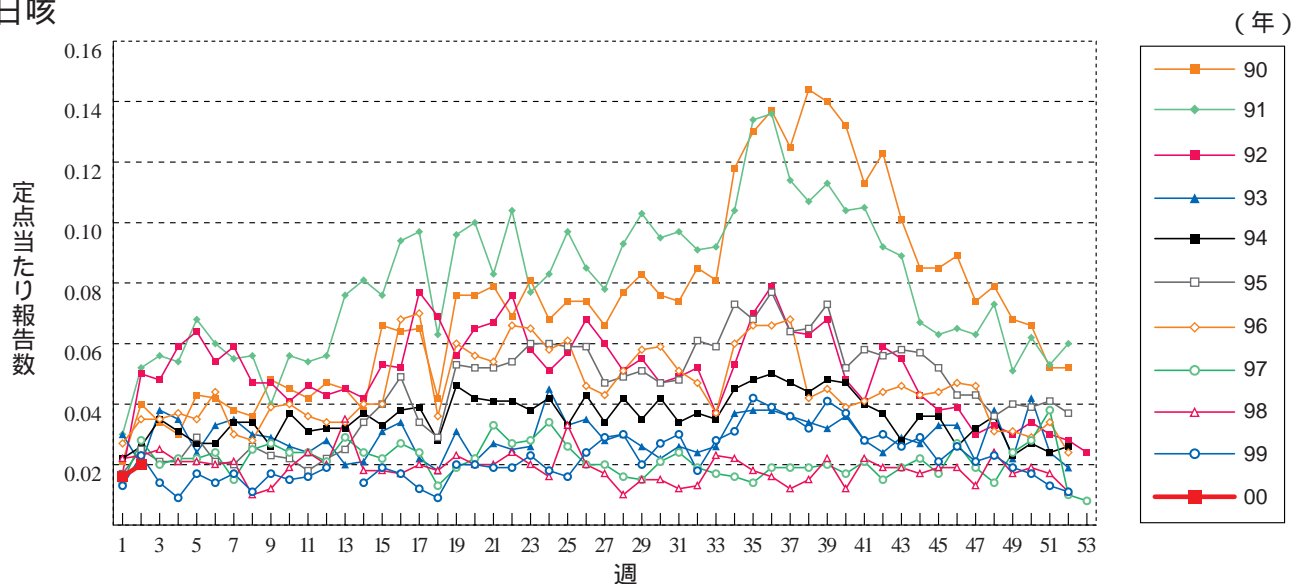
伝染性紅斑



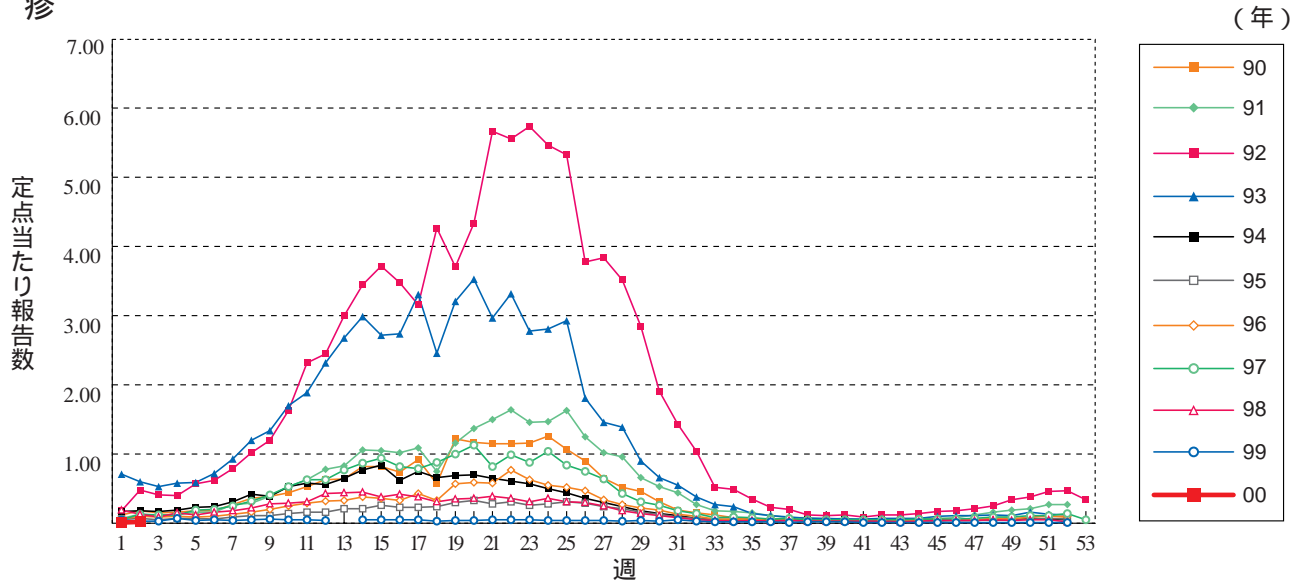
突発性発疹



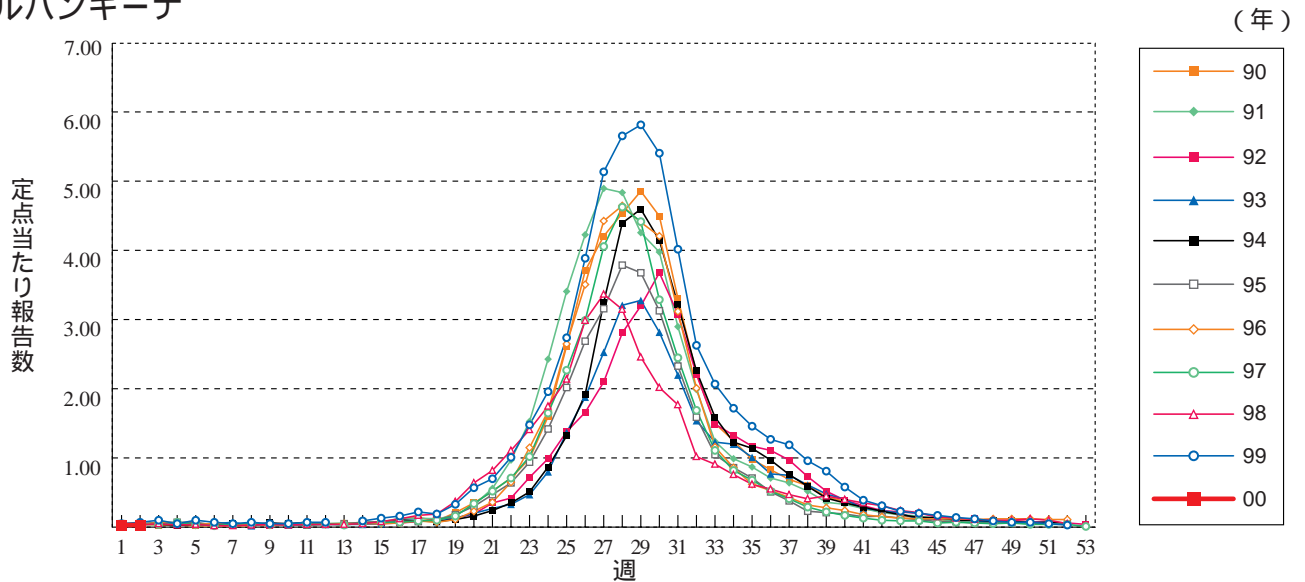
百日咳



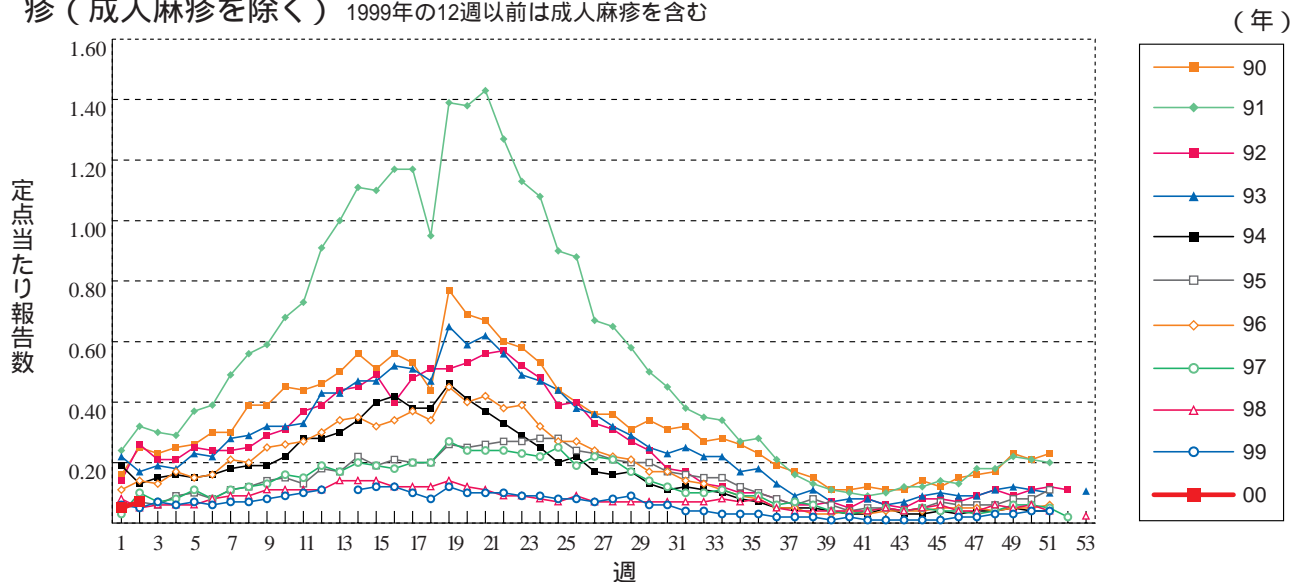
風 疹



ヘルパンギーナ

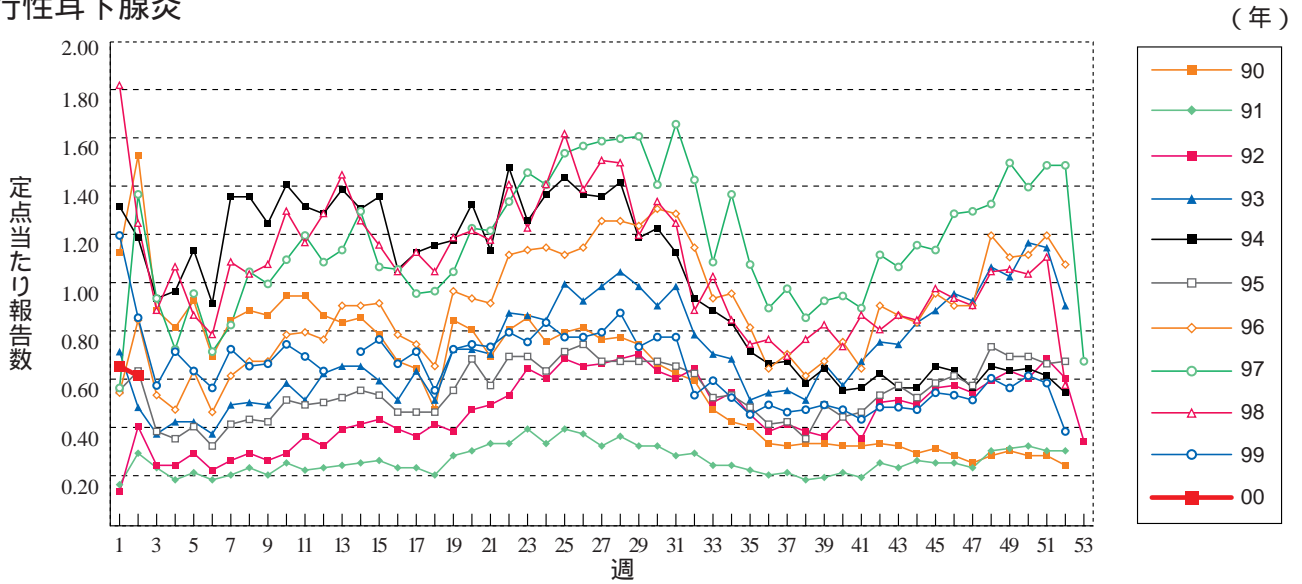


麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む

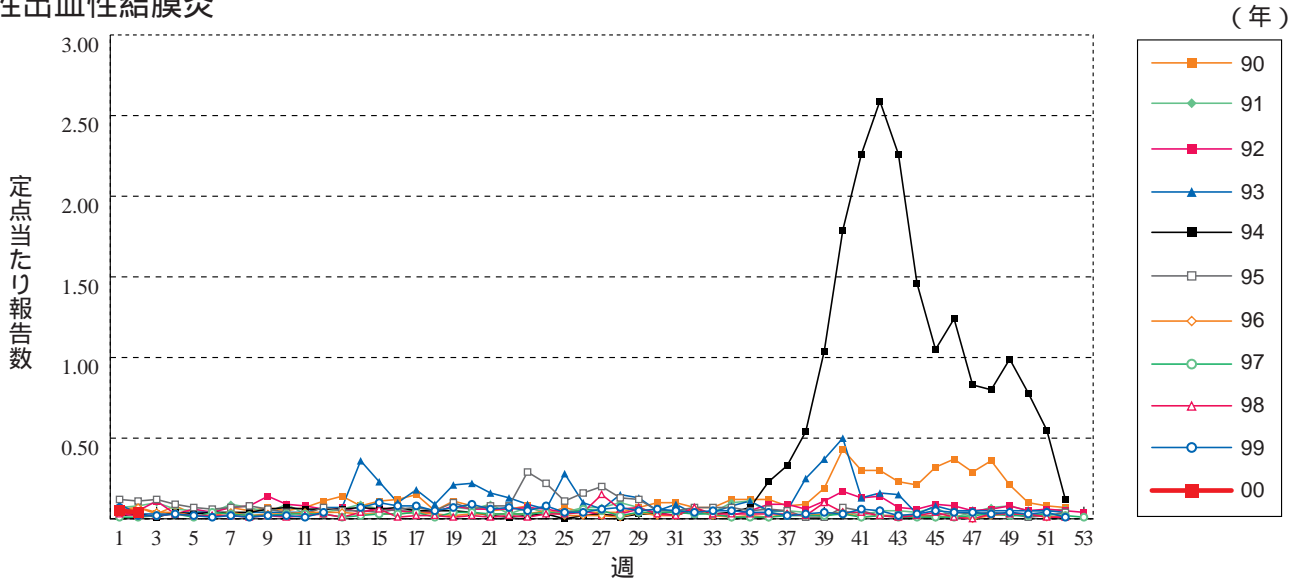




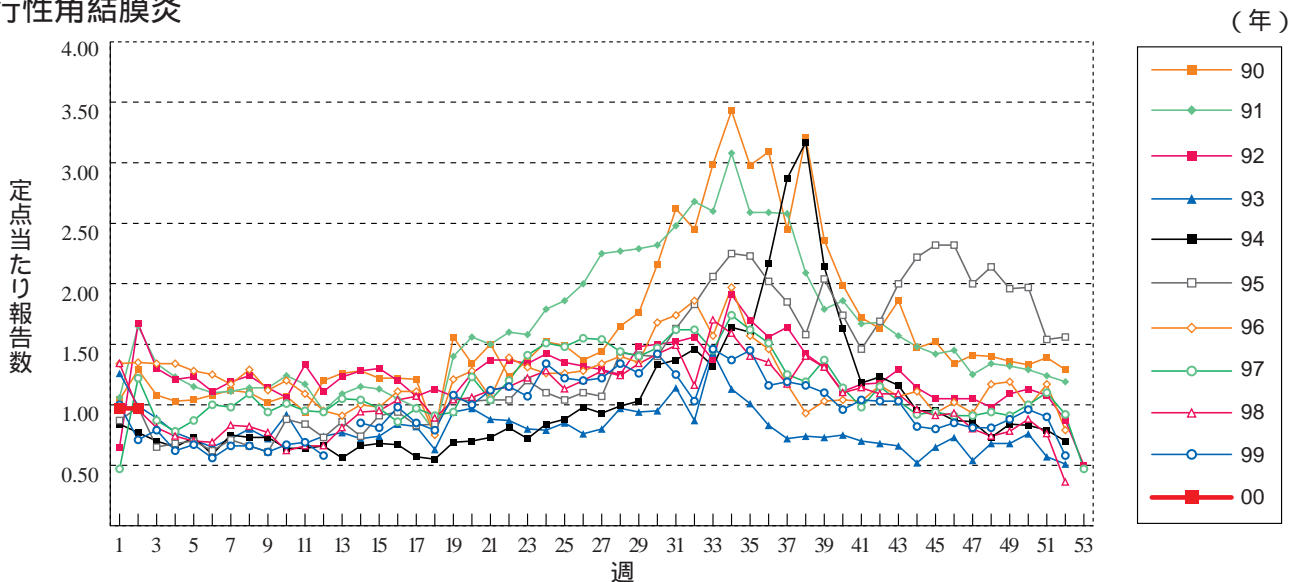
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

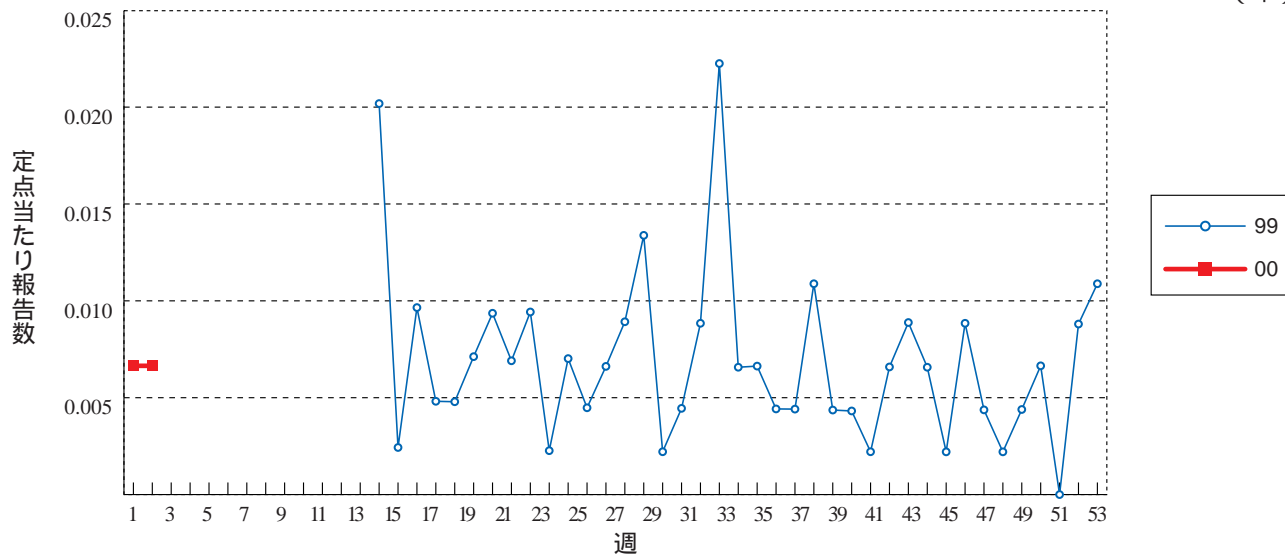


流行性角結膜炎



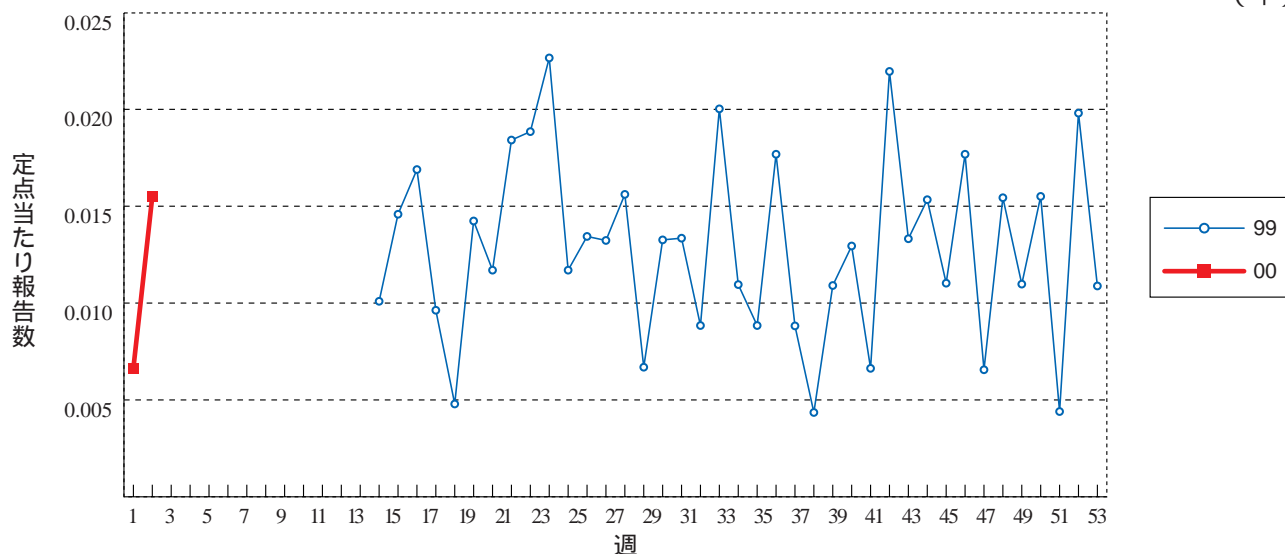
急性脳炎（日本脳炎を除く）

(年)



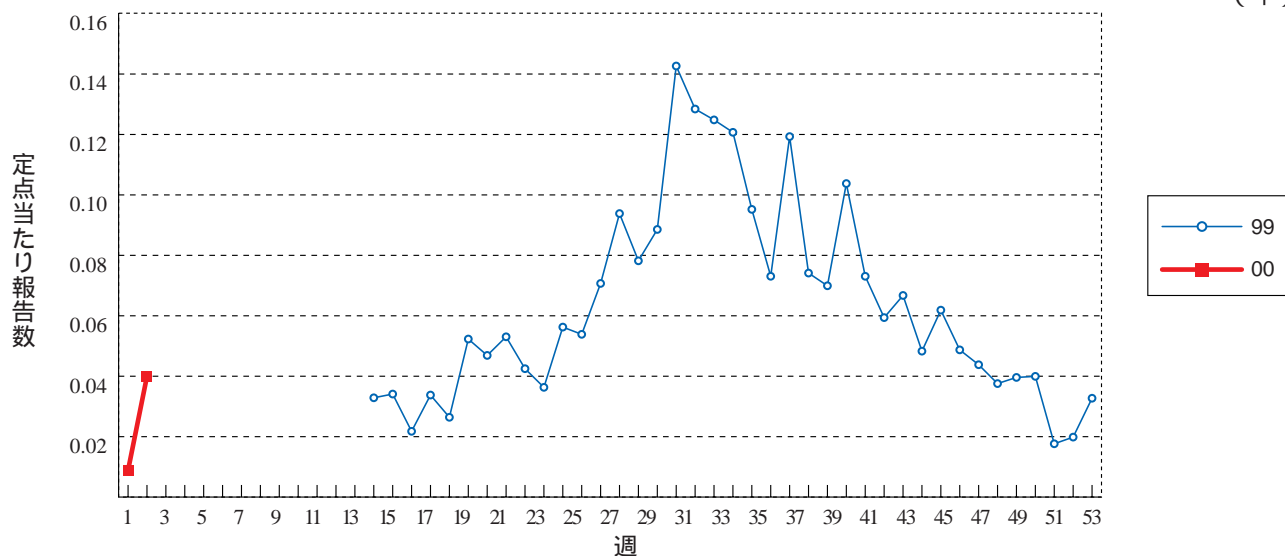
細菌性髄膜炎

(年)

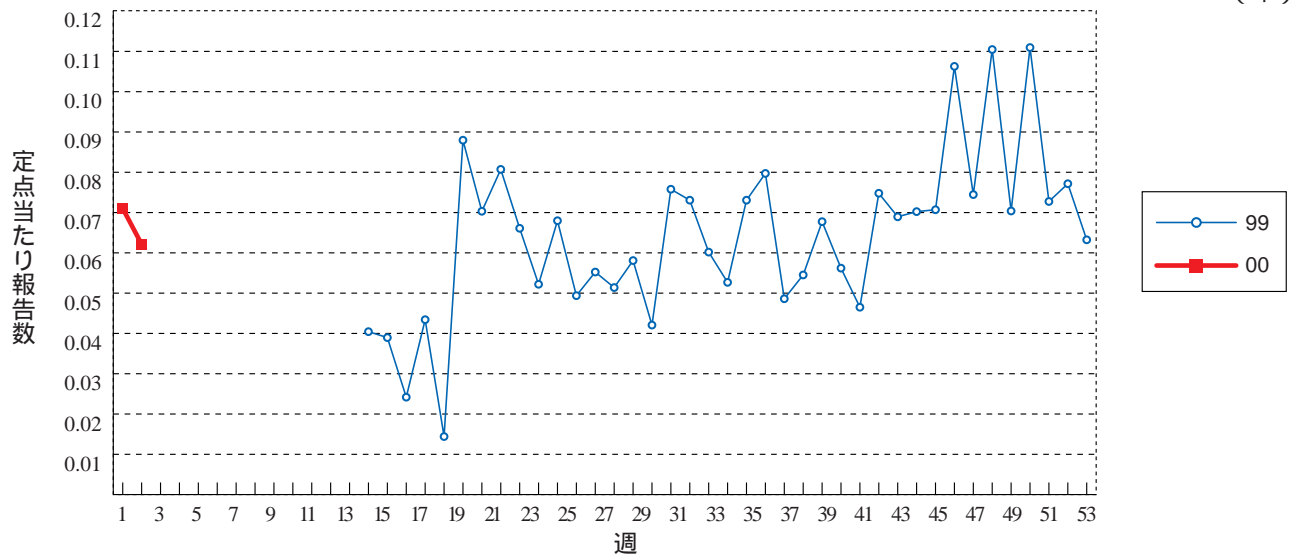


無菌性髄膜炎

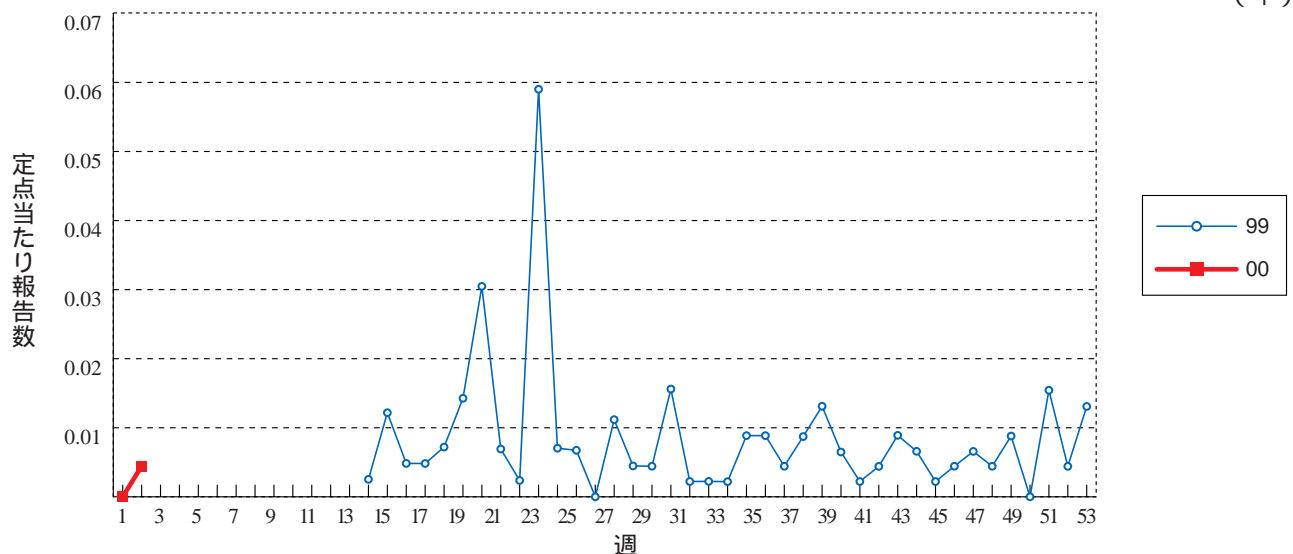
(年)



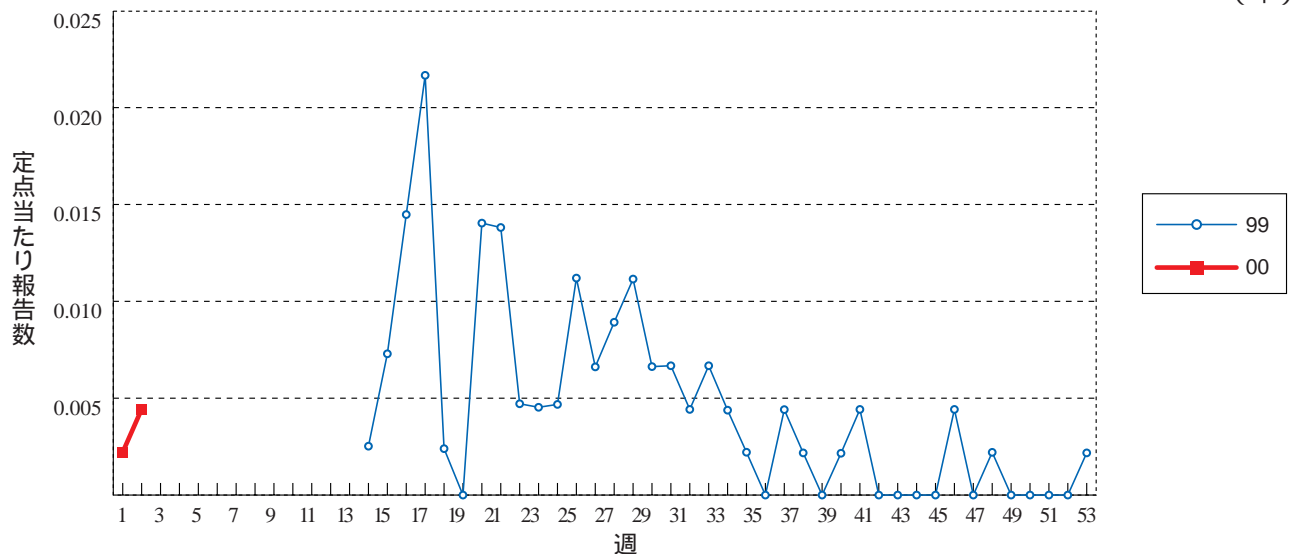
### マイコプラズマ肺炎



### クラミジア肺炎 (オウム病を除く)



### 成人麻疹





## 2週 of データ

注) 表中の報告数は1月21日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年2週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	27	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	7	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年2週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	16	21	3	8	-	-	-	-	-	-	-	-	11	29
北海道	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	1	1	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	1	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
兵庫県	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年2週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年2週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	6	18	-	-	-	-	-	-	-	-	3	14
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
徳島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	2	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年2週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年2週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	46158	10.17	61	0.02	2058	0.70	22752	7.77	7134	2.44	241	0.08	627	0.21	2425	0.83	58	0.02
北海道	1786	6.95	3	0.02	78	0.54	307	2.13	379	2.63	3	0.02	79	0.55	106	0.74	-	-
青森県	435	6.80	-	-	24	0.59	99	2.41	87	2.12	1	0.02	10	0.24	22	0.54	-	-
岩手県	480	7.74	-	-	28	0.74	146	3.84	111	2.92	2	0.05	8	0.21	38	1.00	-	-
宮城県	924	9.53	-	-	34	0.58	1080	18.31	184	3.12	-	-	30	0.51	73	1.24	1	0.02
秋田県	787	14.57	1	0.03	39	1.15	259	7.62	58	1.71	-	-	19	0.56	30	0.88	-	-
山形県	440	9.17	-	-	42	1.40	285	9.50	127	4.23	-	-	3	0.10	27	0.90	-	-
福島県	436	6.14	-	-	15	0.35	445	10.35	135	3.14	2	0.05	22	0.51	27	0.63	-	-
茨城県	712	6.41	-	-	45	0.63	561	7.79	150	2.08	6	0.08	9	0.13	61	0.85	1	0.01
栃木県	278	4.15	-	-	24	0.56	449	10.44	95	2.21	1	0.02	-	-	38	0.88	-	-
群馬県	901	9.19	1	0.02	64	1.00	353	5.52	137	2.14	3	0.05	4	0.06	54	0.84	1	0.02
埼玉県	1920	10.79	-	-	88	0.79	969	8.65	265	2.37	-	-	21	0.19	82	0.73	3	0.03
千葉県	1690	8.05	4	0.03	108	0.81	1269	9.47	383	2.86	6	0.04	48	0.36	112	0.84	3	0.02
東京都	1167	6.56	-	-	40	0.28	858	6.04	190	1.34	2	0.01	27	0.19	81	0.57	2	0.01
神奈川県	2612	7.80	11	0.05	120	0.58	1520	7.38	450	2.18	7	0.03	63	0.31	207	1.00	1	0.00
新潟県	885	8.94	-	-	76	1.27	544	9.07	201	3.35	6	0.10	28	0.47	62	1.03	3	0.05
富山県	757	15.77	-	-	31	1.07	159	5.48	70	2.41	-	-	2	0.07	22	0.76	-	-
石川県	616	12.83	1	0.03	33	1.14	299	10.31	117	4.03	-	-	3	0.10	15	0.52	-	-
福井県	630	19.69	1	0.05	15	0.68	339	15.41	65	2.95	-	-	7	0.32	26	1.18	2	0.09
山梨県	254	6.35	-	-	9	0.36	152	6.08	31	1.24	3	0.12	1	0.04	12	0.48	-	-
長野県	1268	15.65	3	0.06	74	1.42	549	10.56	115	2.21	5	0.10	32	0.62	58	1.12	-	-
岐阜県	1125	17.58	1	0.02	39	0.95	272	6.63	54	1.32	1	0.02	2	0.05	19	0.46	-	-
静岡県	1867	13.63	1	0.01	64	0.74	1078	12.53	289	3.36	3	0.03	10	0.12	92	1.07	4	0.05
愛知県	3484	18.05	2	0.01	104	0.57	1392	7.65	405	2.23	5	0.03	28	0.15	116	0.64	2	0.01
三重県	1232	16.88	7	0.16	29	0.64	591	13.13	106	2.36	11	0.24	5	0.11	43	0.96	8	0.18
滋賀県	744	14.04	1	0.03	33	1.03	114	3.56	46	1.44	3	0.09	3	0.09	16	0.50	-	-
京都府	1511	11.99	2	0.03	45	0.59	492	6.47	89	1.17	4	0.05	4	0.05	38	0.50	1	0.01
大阪府	2862	10.56	1	0.01	45	0.24	736	3.89	234	1.24	7	0.04	14	0.07	113	0.60	4	0.02
兵庫県	2740	13.84	3	0.02	51	0.40	1135	8.87	342	2.67	8	0.06	13	0.10	125	0.98	7	0.05
奈良県	884	16.07	-	-	7	0.20	196	5.60	71	2.03	-	-	8	0.23	20	0.57	-	-
和歌山県	871	17.08	-	-	18	0.56	217	6.78	101	3.16	1	0.03	9	0.28	16	0.50	-	-
鳥取県	418	14.41	3	0.16	80	4.21	334	17.58	48	2.53	1	0.05	-	-	32	1.68	-	-
島根県	336	9.08	2	0.09	11	0.48	220	9.57	51	2.22	-	-	-	-	15	0.65	1	0.04
岡山県	609	7.52	-	-	26	0.49	512	9.66	155	2.92	7	0.13	11	0.21	24	0.45	1	0.02
広島県	1581	13.29	-	-	63	0.84	474	6.32	141	1.88	3	0.04	10	0.13	61	0.81	4	0.05
山口県	866	12.37	1	0.02	41	0.84	396	8.08	99	2.02	2	0.04	2	0.04	55	1.12	-	-
徳島県	448	11.79	-	-	3	0.13	212	9.22	39	1.70	1	0.04	-	-	17	0.74	-	-
香川県	310	6.08	-	-	18	0.56	274	8.56	135	4.22	1	0.03	2	0.06	28	0.88	-	-
愛媛県	697	10.89	1	0.03	83	2.13	490	12.56	109	2.79	-	-	4	0.10	41	1.05	-	-
高知県	268	5.47	-	-	27	0.87	220	7.10	50	1.61	7	0.23	7	0.23	27	0.87	-	-
福岡県	1675	11.96	2	0.03	61	0.78	583	7.47	208	2.67	25	0.32	27	0.35	72	0.92	4	0.05
佐賀県	393	10.08	-	-	25	1.09	177	7.70	85	3.70	3	0.13	3	0.13	34	1.48	-	-
長崎県	279	3.99	3	0.07	13	0.30	230	5.23	119	2.70	8	0.18	1	0.02	30	0.68	-	-
熊本県	298	3.68	2	0.04	21	0.43	438	8.94	199	4.06	12	0.24	9	0.18	74	1.51	1	0.02
大分県	503	8.67	1	0.03	39	1.08	364	10.11	113	3.14	34	0.94	23	0.64	57	1.58	2	0.06
宮崎県	181	3.02	1	0.03	54	1.46	526	14.22	222	6.00	3	0.08	12	0.32	48	1.30	1	0.03
鹿児島県	499	5.14	2	0.03	57	0.97	390	6.61	176	2.98	2	0.03	3	0.05	49	0.83	1	0.02
沖縄県	499	8.60	-	-	14	0.41	47	1.38	98	2.88	42	1.24	1	0.03	10	0.29	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年2週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	46	0.02	76	0.03	195	0.07	1804	0.62	24	0.04	596	0.97	3	0.01	7	0.02	18	0.04
北海道	3	0.02	1	0.01	1	0.01	123	0.85	-	-	23	0.77	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	3	0.07	-	-	38	0.93	-	-	2	0.18	-	-	-	-	-	-
岩手県	2	0.05	2	0.05	14	0.37	11	0.29	1	0.08	8	0.67	-	-	1	0.05	1	0.05
宮城県	3	0.05	-	-	5	0.08	14	0.24	-	-	3	0.27	-	-	-	-	-	-
秋田県	1	0.03	-	-	-	-	13	0.38	1	0.14	1	0.14	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	15	0.50	-	-	4	0.50	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	8	0.19	8	0.19	-	-	5	0.45	-	-	-	-	-	-
茨城県	1	0.01	-	-	16	0.22	32	0.44	2	0.13	36	2.25	1	0.09	-	-	-	-
栃木県	1	0.02	1	0.02	5	0.12	4	0.09	-	-	10	0.83	-	-	-	-	1	0.17
群馬県	1	0.02	1	0.02	-	-	91	1.42	-	-	20	1.43	-	-	-	-	1	0.10
埼玉県	-	-	5	0.04	3	0.03	80	0.71	2	0.08	21	0.81	-	-	-	-	-	-
千葉県	3	0.02	2	0.01	43	0.32	84	0.63	1	0.03	39	1.11	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	10	0.07	2	0.01	68	0.48	-	-	19	1.36	-	-	-	-	2	0.08
神奈川県	7	0.03	2	0.01	8	0.04	137	0.67	-	-	35	0.83	-	-	1	0.09	1	0.09
新潟県	-	-	2	0.03	-	-	31	0.52	-	-	10	1.11	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	3	0.10	-	-	4	0.57	-	-	-	-	2	0.40
石川県	-	-	-	-	-	-	1	0.03	-	-	9	1.29	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	7	0.32	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.33
山梨県	-	-	-	-	-	-	1	0.04	-	-	-	-	1	0.10	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	43	0.83	1	0.10	18	1.80	-	-	-	-	1	0.09
岐阜県	-	-	-	-	5	0.12	36	0.88	-	-	2	0.22	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	5	0.06	1	0.01	100	1.16	3	0.15	15	0.75	-	-	-	-	1	0.11
愛知県	1	0.01	4	0.02	8	0.04	91	0.50	2	0.06	19	0.54	-	-	-	-	-	-
三重県	1	0.02	-	-	-	-	34	0.76	-	-	4	0.33	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	4	0.13	-	-	5	0.16	14	0.44	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	1	0.01	7	0.09	21	0.28	-	-	10	0.56	-	-	-	-	-	-
大阪府	3	0.02	4	0.02	19	0.10	54	0.29	6	0.12	30	0.58	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	1	0.01	9	0.07	119	0.93	1	0.03	43	1.23	-	-	-	-	1	0.07
奈良県	-	-	1	0.03	-	-	22	0.63	-	-	26	2.89	-	-	-	-	1	0.17
和歌山県	-	-	1	0.03	3	0.09	21	0.66	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	21	1.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	2	0.09	14	0.61	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	4	0.08	23	0.43	-	-	17	1.42	-	-	1	0.20	-	-
広島県	-	-	3	0.04	-	-	69	0.92	-	-	27	1.35	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	3	0.06	-	-	101	2.06	2	0.22	14	1.56	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	2	0.09	1	0.04	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
香川県	9	0.28	-	-	19	0.59	17	0.53	-	-	4	1.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	6	0.15	-	-	9	0.23	-	-	10	1.43	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	1	0.03	27	0.87	-	-	5	1.67	-	-	-	-	1	0.14
福岡県	-	-	4	0.05	2	0.03	39	0.50	-	-	24	1.33	-	-	2	0.13	1	0.07
佐賀県	-	-	-	-	-	-	14	0.61	-	-	4	1.00	-	-	1	0.17	-	-
長崎県	3	0.07	1	0.02	1	0.02	15	0.34	2	0.25	10	1.25	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	3	0.06	-	-	55	1.12	-	-	21	2.33	1	0.07	-	-	1	0.07
大分県	-	-	4	0.11	1	0.03	3	0.08	-	-	9	1.80	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	1	0.03	-	-	49	1.32	-	-	6	1.50	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.02	-	-	2	0.03	28	0.47	-	-	12	2.00	-	-	1	0.08	-	-
沖縄県	1	0.03	3	0.09	-	-	4	0.12	-	-	12	1.20	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成12年2週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	28	0.06	2	0.00	2	0.00
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-
秋田県	1	0.17	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-
福島県	1	0.17	-	-	1	0.17
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	1	0.17	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	2	0.22	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	1	0.09
新潟県	1	0.08	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	3	0.60	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-
長野県	1	0.09	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-
愛知県	3	0.23	-	-	-	-
三重県	3	0.33	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-
兵庫県	2	0.14	-	-	-	-
奈良県	2	0.33	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	1	0.20	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	3	0.60	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-
山口県	1	0.11	1	0.11	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	0.07	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	1	0.14	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	2	0.29	-	-	-	-

感染症週報 第2巻、第2号 平成12年1月28日発行  
発行：国立感染症研究所

厚生省保健医療局結核感染症課  
厚生省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
TEL：03-5285-1111  
FAX：03-5285-1129

URL：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html

<国立感染症研究所 感染症情報センター>

http://www.mhw.go.jp/

<厚生省>

http://www.narita-airport.or.jp/quarantine/

<成田空港検疫所>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。